

ポパーとハイエクの社会思想 ——自由で開かれた社会の擁護——

クラス
コード

53A07

曜日時限

金曜13:35~15:05

受講料

13,200円

定員

30名

単位

1単位

概要

盟友関係にある両者は、第2次大戦末期に独立に異なる観点から社会主義を論駁する本を書いています。その結果反動思想家とみなされることも多かったが、現在ではポパーの科学哲学とハイエクの市場論はどちらも、自由社会擁護論の支柱をなすと考えられています。

講師

嶋津 格

獨協大学特任教授 専門/法哲学
東京大学大学院修了。法学博士。元日本法哲学会
理事長

テキスト

プリントを配付します

内容

5月24日~6月28日 (全6回)

- ① 5月24日 ポパー：科学的発見の論理——仮説と反証の理論。科学理論の正しさは証明できない
- ② 5月31日 ポパー：開かれた社会とその敵——プラトン・ヘーゲル・マルクスを閉じた社会の理論として批判
- ③ 6月7日 ハイエク：自生的秩序論——情報伝達システムとしての市場、発見過程としての競争
- ④ 6月14日 ハイエク：設計主義批判——理性の傲慢として社会主義を批判
- ⑤ 6月21日 ハイエク：「自由の条件」「法・立法・自由」——大著2冊の概要
- ⑥ 6月28日 ポパーとハイエク——その共通点と差異